

久喜市水道ビジョン（経営戦略）（案）に対する意見 募集の実施結果

意見提出期間	令和4年8月9日～令和4年9月7日
意見件数	1人 1件

○提出された意見の概要及び意見に対する市の考え方等

番号	意見の概要	市の考え方	条例案（計画案）への反映
1	<p>市民生活に直結する水道事業に日々携わる方々に感謝申し上げます。水道事業の経営戦略において経済効果を追い求める方向性には反対したいと思います。経営の効率化を謳うとき、民営化にかじ取りをすることが見聞きされますがインフラ維持において民営化は避けるべきだと思います。民営化は営業収益を上げることを主体とするため諸外国において水道民営化をしたことによって以下の失敗がありました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、水道料金が結果的に上がる 2、設備投資が杜撰になる 3、水道の品質が下がる <p>と言ったことが起こり、民営化を公営化に戻しています。</p> <p>もし、この水道事業における経営戦略において民営化を検討することがありましたら、そのような愚策を選択することが無いように望みます。市民の生活に必要なインフラは水道事業も含めて公営化を維持しなければ十分な資金を投入して必要な設備投資や、品質を維持することが出来ません。民営化は一時の効率化しかなく、市民の生活に必要な水道事業は特に長期的な視点を持たなくてはなりません。その場合は公営化維持が一番であり、経営状況によってふらつきがある民営化の検討はしないでいただきたいと思います。</p>	<p>水道事業の民営化については、人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化、人材不足等、水道事業の直面する課題に対応し、水道の基盤強化を図るための一つの手法であることは認識しておりますが、本市水道事業では、現在の安定した経営状況を維持し、市民の皆さまに安全・安心な水道水の供給を行うことが最も重要であると考えております。</p> <p>そのため、久喜市水道ビジョン（経営戦略）における計画期間10年間では、総括的な官民連携、いわゆる水道事業の民営化については考えておりません。</p> <p>なお、久喜市水道ビジョン（経営戦略）では、水道事業が直面している課題に対応するため、これまでも取り入れている水道料金徴収や浄水場の運転管理等、業務の一部を委託する官民連携以外に、民間活力の導入により事業運営の効率化や経営の安定化に繋がるような業務がないか、常に検証していく必要があるとの考えから、施設の適切な維持管理やサービス水準の向上、コストの削減等が見込まれる場合には、民間委託の活用を進めていくことを方策としております。</p>	<p>原案どおり</p>